

# 7月18日、都労委審問

## 都労委報告 8 平山裕

7月17日、ついに会社側証人元新横浜予約センター田代所長に対する反対審問が行われました。組合側補佐人として地区分会の平山さん・佐藤さん・菅野さんと東二両分会の中村さんが質問を行いました。

田代証人の審問での最大の特徴点は、組合側が提出したビデオに自らの発言が克明に記録されているため、「やめて頂いてけっこうといったよ」という発言を認めたことです。さらに、抗議に訪れた仲間と会話を行ったことも認めました。田代証人が陳述書で「事実ではない」などと主張していたことが事実をもって真っ赤なうそであることを認めざるをえなかったのです。

ところが、田代証人は陳述書の「事実ではない」という主張はまちがいでないかと指摘されると、虚偽を認めたくないため「質問の意味がわからない」などと、わけのわからぬ発言を繰り返し、失笑を買いました。

また、面談で佐々木さんが述べた勉強会欠席理由について「屁理屈だ」と発言したことについて、補佐人

ビデオを禁じる理由も明白に

から「体調不良」や「家庭の事情」は「屁理屈といえるのか」と問われると、さすがに肯定することができず、「一般論としてはそうだが(屁理屈ではない)」と認めざるを得なかったのです。

「一般論では屁理屈ではない」

そして、それ以外は、いっさいの反論なしにただただ開き直るだけだったことです。佐々木さんが書いた三点の「状況報告書」は、労働情報センターの係員も明確な不当労働行為だと認めたにもかかわらず、「必要な報告である」と主張したり、東二両での「差別はしないが区別はする」という発言を補佐人の中村さん自身が「私は聞いている」とのべ、「東二両の多くの組合員が聞いている」と問われても「そんなことを言うはずがない」と、文字通りの開き直りに終始しました。

何が何でも、事実を否定するしか、田代証人のとる道はなかったのです。しかし、陳述書で論拠を示さずに「事実ではない」という主張を羅列していたのと同じように、開き直り発言をつづけたことによって、逆に田代元所長の数々の発言が事実であることが浮き彫りになったといえます。

うそで固められた田代元所長や会社側の主張の化けの皮をはがし、佐々木さんに対する非人道的なパワハラと、抗議に対する処分の不当性を徹底的に明らかにするために今後とも全員でがんばりましょう。

### 陸に上がった軍艦

山本保博監督



渋谷ユースベース/千葉劇場



ひめゆり 柴田片平監督 ポレポレ 東中野 横浜ジャック&ベティ

### この夏お勧めの映画

TOKKO・特攻

### ヒロシマ・ナガサキ



ステーウン・オカサキ監督 磐波ホール

### 電影叔叔



リサ・モリモト監督 狭谷シネ・アミューズ 横浜ジャック&ベティ